

令和5年（2023年）9月15日

宝塚市長 山崎 晴恵 様

宝塚市行政評価委員会  
委員長 南島 和久

令和5年度行政評価（令和4年度実施分）について（答申）

令和5年（2023年）7月28日付宝塚市諮問第21号について、行政評価委員会規則第2条の規定に基づく当委員会の調査、審議の結果及び意見を別紙のとおり答申します。

令和5年度行政評価（令和4年度実施分）に  
係る答申書

令和5年（2023年）9月  
宝塚市行政評価委員会

## 目次

答申にあたって .....	1
(1) 第6次宝塚市総合計画評価対象 28 施策（対面評価 10 施策、書面評価 13 施策） .....	3
(2) 第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略評価対象 4 施策（対面評価） .....	4
(3) 地方創生推進交付金評価対象 3 事業（対面評価） .....	4
<b>2 第6次宝塚市総合計画評価 .....</b>	<b>4</b>
(1) 評価の視点 .....	4
(2) 評価結果 .....	5
<b>4 第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略の評価結果 .....</b>	<b>32</b>
<b>5 地方創生推進交付金事業の評価結果 .....</b>	<b>34</b>
<b>6 委員名簿 .....</b>	<b>35</b>

## 答申にあたって

本年度の宝塚市行政評価委員会は、7月末からのおよそ1ヶ月の期間で行われました。昨年度よりもさらに短期間の集中審議となったため、委員の皆様や担当部局の職員の皆様、また行政評価委員会の事務局職員の皆様に、昨年度にもまして多大なご負担をおかけすることとなりました。ご協力いただいた関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

本年度の行政評価委員会では、第6次宝塚市総合計画の28施策、第2期夢・未来たからづか創生総合戦略の4施策および地方創生推進交付金の3事業を対象とする審議を行いました。ポイントは以下の3点です。

第1に、第6次宝塚市総合計画の28施策の審議では、とくに指標の審議に多くの時間が費やされました。このことは「評価結果」にも表現されています。指標は宝塚市の行政活動が何を指そうとしているのかを市民や関係者が共有するための重要な手がかりとなります。これまでの指標は、成果・結果（アウトカム）ベースで記述することを求めるものでした。このことはこれまでの方法論であるとともに一定の意義があるものでもあるのですが、過度に成果・結果（アウトカム）ベースの指標設定にこだわりすぎると、行政活動とは関係の薄い指標が並んでしまったり、業務の改善につながらないものとなりがちであるというマイナス面もあります。こうした観点からより積極的に行政活動と関連性の高い指標を求めたというのが、本年度の総合計画28施策の審議に際しては重視されていたことであるということです。

第2に、第2期夢・未来たからづか創生総合戦略の施策及び地方創生交付金の事業については、昨年度に引き続き、国の交付金事業の枠組みに係る事業であること、国から重要業績評価指標（KPI）の検証を求められるなかで行われる検証作業であることを踏まえ、担当部署にしっかりとした成果・実績の説明を求めました。担当部署からはこうした意図を汲み、昨年度にもまして丁寧な説明を行っていただきました。その上で、行政評価委員会では昨年度よりも多くの指摘事項が出されました。これらの指摘についても指標に関する言及が多く見られますが、見直しの機会に積極的に活用していただければと考えます。

第3に、この点は昨年度と同じことですが、本編に記載した「評価結果」については、担当部局に確認を行い、限られた時間の中でできるだけ実行性があるものとなることを目指したものです。本答申は市長がリーダーシップを発揮される際の参考資料となること、担当部局においてPDCAサイクルを回していく際の参考に資することを優先しています。本答申が、今後の市政運営において有効に活用されることを願ってやみません。

令和5年（2023年）9月15日  
宝塚市行政評価委員会委員長 南島和久

## 1 評価対象施策及び評価の方法

宝塚市行政評価委員会（以下「委員会」という。）は、市長より諮問を受け、(1)第6次宝塚市総合計画の28施策、(2)第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略の4施策及び(3)地方創生推進交付金の3事業を対象として評価を行った。

具体的な評価対象施策又は評価対象事業は以下の(1)～(3)のとおりであった。

なお、(1)第6次宝塚市総合計画の28施策のうち教育分野の5施策は教育委員会事務執行調査で外部評価を行うため、本委員会での評価対象は23施策とし、特に意見を求められた10施策については対面評価、残りの13施策については書面評価とした。書面評価については、各委員からコメントを出していただき、これを精査した上で担当部局との調整を経て確定した。第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略の4施策及び地方創生推進交付金の3事業については全て対面評価として行った。

委員会の開催日程は以下のとおりである。

回数	日時・場所	主な審議内容
第1回	令和5年7月28日（金） 13：30～16：00 宝塚市役所4階 3-3会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諮問</li> <li>・行政評価について</li> <li>・評価の進め方について 等</li> </ul> <b>【第6次宝塚市総合計画】3施策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2-1(1)、2-1(2)、2-2(2)</li> </ul>
第2回	令和5年8月8日（火） 9：30～12：00 宝塚市役所4階 3-3会議室	<b>【第6次宝塚市総合計画】4施策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2-5(1)、2-6(1)、2-6(2)、2-6(4)</li> </ul>
第3回	令和5年8月17日（木） 9：30～12：00 宝塚市役所4階 3-3会議室	<b>【第6次宝塚市総合計画】3施策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4-1(1)、4-1(2)、4-1(4)</li> </ul>
第4回	令和5年8月29日（火） 9：30～12：00 宝塚市役所4階 3-3会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢・未来 たからづか創生総合戦略（基本目標2子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり）</li> <li>・地方創生推進交付金評価</li> <li>・答申（素案）について</li> </ul>

委員会における対面評価の方法は以下のとおり。

ア 担当部局から内容説明を受け質疑応答を行った。

イ 委員会での討議のうえ、見解をまとめた。標語については委員会にて確定した。

委員会における書面評価の方法は以下のとおり。

ア 各委員が担当する施策について各自のコメントを記入した。

イ 各委員から提出されたコメントを取りまとめ、委員長調整の上原案を作成した。

ウ 原案は第4回委員会にて確定した。なお、標語については委員会にて確定した。

(1) 第6次宝塚市総合計画評価対象28施策（対面評価10施策、書面評価13施策）

めざすまちの姿	施策分野	めざすまちの姿の実現に向けた施策	対面評価	書面評価
2 住み続けたい、安全・快適なくらしがあるまち～安全・都市基盤～	1 危機管理・防災・消防	2-1 (1) 迅速・適切な危機管理体制づくり	○	
		2-1 (2) 自助・共助の体制づくり	○	
		2-1 (3) 消防・救急体制の充実		○
	2 防犯・交通安全	2-2 (1) 防犯対策の推進		○
		2-2 (2) 交通安全対策の推進	○	
	3 消費生活	2-3 (1) 世代や生活の場に応じた多様な消費者教育の推進		○
	4 土地利用	2-4 (1) 南部地域の持続可能な都市づくりの推進		○
		2-4 (2) 北部地域の活性化に向けたまちづくりの推進		○
		2-4 (3) 地域の特性にあった良好なまちづくりの推進		○
	5 住宅・住環境	2-5 (1) 住宅ストックの活用促進など良好な住環境の維持	○	
		2-5 (2) 安心して住み続けられる住まいづくりの促進		○
	6 道路・交通	2-6 (1) 計画的、効率的な道路整備の推進	○	
		2-6 (2) 公共交通の利便性の向上と、新たな移動手段の検討	○	
		2-6 (3) 橋梁などの道路構造物の長寿命化や計画的な修繕の推進		○
		2-6 (4) すべての人にやさしい安全で快適な道路環境づくりの推進	○	
	7 河川・水辺空間	2-7 (1) 治水・土砂災害対策の推進		○
		2-7 (2) 憩いや安らぎのある河川・水辺空間の創出		○
8 上下水道	2-8 (1) 安全で良質な水道水の安定的な供給		○	
	2-8 (2) 安全・安心で安定した下水道サービスの提供		○	
4 子どもの生きる力が育つまち～子ども・教育～	1 児童福祉・青少年育成	4-1 (1) すべての子どもと家庭への支援	○	
		4-1 (2) 子育てと仕事の両立支援	○	
		4-1 (3) 安全・安心の子育て環境づくり		○
		4-1 (4) 家庭や地域の子育て力の向上と子どもの社会参加の促進	○	
	2 学校教育※	4-2 (1) 子どもの「生きる力」の育成	-	-

		4-2 (2) 学校園、教職員の教育力の向上	-	-
		4-2 (3) 市民全体による子どもの支援	-	-
	3 社会教育※	4-3 (1) 生涯を通じて学ぶことのできる環境の充実	-	-
		4-3 (2) スポーツに親しむ環境づくりの推進	-	-

※教育分野の5施策は教育委員会事務執行調査で外部評価を行うため、本委員会での評価対象は23施策とする。

(2) 第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略評価対象4施策（対面評価）

基本目標	基本的方向
【基本目標2】 子どもがいきいきと育ち、 子育て世代に選ばれるまち づくり	基本目標2(1) 出産・子育て支援の充実
	基本目標1(2) 子育てと仕事の両立の支援
	基本目標1(3) 「生きる力」を育み、次代の社会を担う子どもへの学校教育の充実
	基本目標1(4) 子育て世代に選ばれる魅力的な住環境の形成

(3) 地方創生推進交付金評価対象3事業（対面評価）

NO.	事業名称
1	文化芸術を中心としたまちのにぎわい・活力創出事業 ～選ばれるまちを目指して～
2	やる気が生み出すイノベーション！新たな一歩応援事業
3	新しい生活様式に対応した起業家支援事業～若い力で新しい宝塚を創造する～

## 2 第6次宝塚市総合計画評価

### (1) 評価の視点

委員会の審査にあたっての「評価の視点」については以下のア～クを基本とすることを確認した。なお、これら以外の論点についても重要と思われる点については掲記することとした。

- ア 施策を構成する主な事務事業の取組が施策の方向性に沿っているか。
- イ 施策の目標達成に向けて、成果指標が適正に設定されているか。
- ウ 取組内容や成果指標の結果等から、総合評価（担当部評価）は妥当か。
- エ 「評価の理由」及び「達成状況とその理由」が分かりやすく、明確な内容となっているか。
- オ 「施策実現のための課題」が適切に把握できているか。
- カ 「課題を踏まえた今後の取組」について、どのように課題を解決していくのか明確に記載されているか。
- キ 知見に基づくアドバイスや事例紹介など。
- ク その他、評価表が市民にとってわかりやすく記載されているか。

(2) 評価結果

ア 第6次宝塚市総合計画（めざすまちの姿の実現に向けた施策）の評価

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	<p>2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～</p> <p>○命や生活に関わる危機に市民と行政が共に備え、いざという時には、迅速かつ適切な対応を取れる体制が整っている。</p> <p>○地震や風水害、感染症に市民と行政が共に備え、地域で助け合う意識が高まることにより危機対応力が強化されている。</p> <p>○充実した消防・救急体制のもとで、安心して暮らしている。</p>
31の施策分野	2-1 危機管理・防災・消防
施策	(1) 迅速・適切な危機管理体制づくり
施策の方向性	<p>○危機管理施設の整備を推進します</p> <p>○危機管理体制を整えます</p> <p>○危機対応力の向上を図ります</p>
施策を構成する主な事務事業	<p>災害対策事業</p> <p>水防対策事業</p> <p>防災情報伝達事業</p>
関係する計画等	<p>宝塚市危機管理指針</p> <p>宝塚市水防計画</p>
<b>宝塚市行政評価委員会（対面評価）</b>	
改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の成果指標が安心メール登録者数のみでは不十分。施策の方向性や行政活動が測れる指標（訓練実施、設備の点検更新など）の設定を検討されたい。</li> <li>・施策の評価には、BCP（事業継続計画）の水準やレジリエンス（回復力）の水準がどれほど向上したかという説明が必要。重要事務事業を入れるなど評価表の記載内容を充実されたい。</li> <li>・避難場所に対する市民の認知度が重要である。施設の整備など事務事業の中で重要な取組については評価に記載すること。</li> </ul>



第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	<p>2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～</p> <p>○命や生活に関わる危機に市民と行政が共に備え、いざという時には、迅速かつ適切な対応を取れる体制が整っている。</p> <p>○地震や風水害、感染症に市民と行政が共に備え、地域で助け合う意識が高まることにより危機対応力が強化されている。</p> <p>○充実した消防・救急体制のもとで、安心して暮らしている。</p>
31の施策分野	2-1 危機管理・防災・消防
施策	(2) 自助・共助の体制づくり
施策の方向性	<p>○防災活動に携わる様々な団体と共に地域防災力の向上と感染症への備えを推進します</p> <p>○災害時要援護者の支援体制を整えます</p>
施策を構成する主な事務事業	<p>地域防災力アップ事業</p> <p>災害時要援護者支援事業</p>
関係する計画等	宝塚市地域防災計画

#### 宝塚市行政評価委員会（対面評価）

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当部局の取組が正当に評価されるように取組内容や課題、今後の取組の記載を充実させる必要がある。</li> <li>・地域の防災力が向上したかどうかということがわかるような記載、説明が必要である。</li> <li>・地域の防災力向上と行政の努力が一致しているかがキーポイントとなる。外的要因によらず、行政活動の成果を測れるような指標を検討されたい。</li> <li>・ハードとソフトが一体の取組ならば施策2-1(1)と(2)は、1つの施策にまとめるべきである。施策体系について今後検討されたい。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	<p>2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～</p> <p>○命や生活に関わる危機に市民と行政が共に備え、いざという時には、迅速かつ適切な対応を取れる体制が整っている。</p> <p>○地震や風水害、感染症に市民と行政が共に備え、地域で助け合う意識が高まることにより危機対応力が強化されている。</p> <p>○充実した消防・救急体制のもとで、安心して暮らしている。</p>
31の施策分野	2-1 危機管理・防災・消防
施策	(3) 消防・救急体制の充実
施策の方向性	<p>○災害対応能力の充実を図り、市民生活の安全・安心を確保します</p> <p>○消防力の充実を図ります</p> <p>○防火安全対策を推進します</p> <p>○消防団と自主防災組織を中心に、地域の消防防災体制の充実を図ります</p> <p>○消防の連携・協力体制を強化します</p>
施策を構成する主な事務事業	<p>非常備消防事業</p> <p>消防予防事業</p> <p>消防警防事業</p> <p>消防救急事業</p> <p>消防指令業務共同運用事業</p> <p>消防車両整備事業</p> <p>消防救急デジタル無線整備事業</p>
関係する計画等	宝塚市消防計画
<b>宝塚市行政評価委員会（書面評価）</b>	
改善を求める点	<input type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input checked="" type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「救急救命受講者数」について、目標と実績との間に乖離があるなか、現状の「担当部局評価」の判定結果は妥当か。</li> <li>・指標は、「めざすまちの姿」「施策の方向性」に合致していないのではないか。いずれも他律的な指標であり、行政活動を表現できるより適切な指標への見直しが必要ではないか。</li> <li>・「消防・救急体制の充実」は体制整備の指標の方が適切ではないか。</li> <li>・指標にはハード面を捉えるものも必要ではないか。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○犯罪や交通事故がなく、誰もが安全・安心に暮らしている。
31の施策分野	2-2 防犯・交通安全
施策	(1) 防犯対策の推進
施策の方向性	○防犯意識の啓発や防犯活動組織への支援など、地域の防犯力を高めます ○犯罪被害者等の総合的な支援に取り組みます
施策を構成する主な事務事業	防犯事業
関係する計画等	

### 宝塚市行政評価委員会（書面評価）

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策評価は「行政として何をなしたか」「結果としてどうなったか」も重要であるものの、現状の指標は市民の活動と事業の直接の成果との結びつきが必ずしも深くないものが掲げられている。安全や防犯の問題は「結果としてどうなったか」が見えにくく、重要なのは実際の現場であり、「何をなしたか」を可視化していただきたい。</li> <li>・指標①「アトム防犯グループ数」の増加、指標②「刑法犯罪認知件数」の減少という2つの指標だけでは、施策「防犯対策の推進」には不十分である。また、目標の設定についても説明が不足している。このため、当該施策は指標について再検討されたい。</li> <li>・防犯対策の推進には、「地域住民」「市」「教育委員会・学校」「警察」など関係者の連携が重要である。地域の防犯力強化には、組織、部署を横断する取組が重要であることから、こうした取組が見える指標を検討ありたい。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○犯罪や交通事故がなく、誰もが安全・安心に暮らしている。
31の施策分野	2-2 防犯・交通安全
施策	(2) 交通安全対策の推進
施策の方向性	○交通安全意識の啓発を推進します ○交通危険箇所の安全対策を実施します ○駅周辺の快適な歩行空間を確保します
施策を構成する主な事務事業	交通安全対策事業 自転車対策事業 街路灯管理事業
関係する計画等	第11次宝塚市交通安全計画
<b>宝塚市行政評価委員会（対面評価）</b>	
改善を求める点	<input type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11次宝塚市交通安全計画を策定し整理されているため、問題意識も鮮明で非常に分かりやすい。</li> <li>・警察との役割分担や、その中で市の具体的政策や行政活動の成果を測れるような指標をどう設定するかについて、改めて考えていく必要がある。</li> <li>・交通安全の普及啓発がメインであるため、交通事故等の分析を進めて、対策に繋げることでPDCAサイクルが実効的に回るようにしていただきたい。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○消費者トラブルの予防や対処に関する知識が広がり、自ら考え、行動する消費者が増えている。
31の施策分野	2-3 消費生活
施策	(1) 世代や生活の場に応じた多様な消費者教育の推進
施策の方向性	○市民や関係機関、市民団体、事業者等と連携・協働しながら、消費者教育や啓発を推進し、次世代の担い手を育成します ○消費生活相談機能を充実させます
施策を構成する主な事務事業	消費者教育・啓発事業 消費生活センター事業 消費生活相談事業
関係する計画等	第2次宝塚市消費者教育推進計画

#### 宝塚市行政評価委員会（書面評価）

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策「世代や生活の場に応じた多様な消費者教育の推進」が、指標「消費生活講座などの参加人数」で表現されている。「多様な消費者教育の推進」とは何か、それを推進しうるような指標はどうあるべきかという観点から指標を見直すべき。</li> <li>・ 消費生活センター事業について、施策の方向性が消費者教育や啓発を主としていると思われるため、その事務事業が消費者「教育」の推進とどのような関連があるのか分かりやすく説明すべき。</li> <li>・ 高齢者の消費トラブルが課題となっていることから、高齢者への啓発や理解をすすめることが肝要と思われる。成果指標にも、そうした項目が考慮されてもよいのではないか。</li> <li>・ 「課題を踏まえた今後の取組」について、高齢者のスマホ講座が書かれているが、これは消費者教育の一環として行うものなのか。スマホ講座が単なる使い方の啓発ではなく、どのように消費者教育と関連しているのか、説明が付加されるとよいのではないか。</li> <li>・ 「課題を踏まえた今後の取組」について若年層やその他の世代についての記述が見られない。インターネット上のゲーム課金や投げ銭などの問題も多発している。スマホ決済や電子マネーも多様なものが出現し、金銭の管理が困難になっている面もある。成人年齢が引き下げになったことから、若年層に向けてもさらなる対策が求められる。学校</li> </ul>

		<p>や子供会、児童館などとの連携や出前授業などの指標も検討ありたい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・指標としては「高齢者のみの家庭」などにターゲットを絞った指標は開発できないか。</li><li>・施策の方向性に「消費生活相談機能を充実させます」とあるが、指標に「消費相談件数」も追加してはどうか。</li></ul>
--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○人口減少、少子高齢社会に対応し、豊かな自然や文化など様々な特性を生かしつつ、都市機能を集積するなどコンパクトなまちづくりが進んでいる。
31の施策分野	2-4 土地利用
施策	(1) 南部地域の持続可能な都市づくりの推進
施策の方向性	○地域特性を踏まえながら、駅周辺への多様な都市機能の誘導を推進します ○住民主体のまちづくりを推進し、良好な住環境の維持・形成を図ります ○自然緑地や都市緑地の保全・育成に努めます
施策を構成する主な事務事業	新庁舎・ひろば整備事業 都市計画管理事業 都市計画支援システム事業 地区まちづくりルール支援事業 都市計画推進事業
関係する計画等	宝塚市都市計画マスタープラン

### 宝塚市行政評価委員会（書面評価）

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの指標はいずれも現状維持の目標となっている。行政の努力や市民の努力が見える指標を掲げた方が有意義ではないか。</li> <li>・指標の追及が経済発展や人口増をもたらし、多様な都市機能の誘導や良好な住環境の維持・形成などの成果に繋がるという文脈が必要ではないか。</li> <li>・課題や将来動向を整理の上、都市計画の全体像の明示や進捗報告が必要ではないか。</li> <li>・成果指標①「市街化区域の面積」について、今後の取り組みについては適切に示されているが中心市街地における持続可能なまちづくりの実現とエリアの価値向上についても具体的な取り組みが記載されているとなおよいのではないか。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○人口減少、少子高齢社会に対応し、豊かな自然や文化など様々な特性を生かしつつ、都市機能を集積するなどコンパクトなまちづくりが進んでいる。
31の施策分野	2-4 土地利用
施策	(2) 北部地域の活性化に向けたまちづくりの推進
施策の方向性	○自然環境と田園環境の保全に努めます ○地域資源を生かした魅力的なまちづくりを推進します ○住民主体のまちづくりを推進し、集落環境の維持に努めます
施策を構成する主な事務事業	農業用施設改修事業 北部振興企画事業
関係する計画等	宝塚市都市計画マスタープラン
<b>宝塚市行政評価委員会（書面評価）</b>	
改善を求める点	<input type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北部地域の活性化に向けたまちづくりの推進」を掲げる以上、市としての将来的な方向性を市民との意見交換や対話を重ねるべき。補助金などの逐次投入による延命策だけでは人口減や衰退に歯止めが効かない。</li> <li>・文脈が見えない小さな施策が複数の担当課に分かれ、部分最適型で施策を進めることは好ましくない。全体像を踏まえ、さらなる選択と集中を図ることも検討ありたい。</li> <li>・指標②については実績が低すぎるのではないか。知名度を底上げするような取組が必要なのではないか。</li> </ul>



第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○人口減少、少子高齢社会に対応し、豊かな自然や文化など様々な特性を生かしつつ、都市機能を集積するなどコンパクトなまちづくりが進んでいる。
31の施策分野	2-4 土地利用
施策	(3) 地域の特性にあった良好なまちづくりの推進
施策の方向性	○多様な事業手法を活用して、地域と連携したまちづくりを進めます ○既存都市施設を有効に活用し、まちの活性化を図ります
施策を構成する主な事務事業	ソリオ宝塚駐車場管理事業 公益施設管理運営事業 土地区画整理調査事業
関係する計画等	宝塚市都市計画マスタープラン

#### 宝塚市行政評価委員会（書面評価）

改善を求める点	<input type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input checked="" type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍からの回復は社会環境の変化による一過性の現象であり、市の事業活動によってもたらされた成果とはいえない。</li> <li>・少子高齢化や人口減で失いつつあるまちの活力を地域連携を深めながら進めていくことが本来の主旨と思われる。そうした指標を検討ありたい。</li> <li>・「めざすまちの姿」と「成果指標」との関係が一致するよう再検討ありたい。</li> <li>・指標②「ソリオ宝塚第1駐車場及び第4駐車場の時間貸利用台数」については、「めざすまちの姿」との関連性において指標を再検討ありたい。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○良好な住宅を次の世代へつなぎ、誰もがずっと住み続けたいと思える魅力的な住環境が整っている。
31の施策分野	2-5 住宅・住環境
施策	(1) 住宅ストックの活用促進など良好な住環境の維持
施策の方向性	○空家の適正管理と活用の促進を図ります ○民間住宅や市営住宅の有効活用と適正な維持保全を推進し、良好な住環境を維持します
施策を構成する主な事務事業	空家等対策事業 市営住宅管理事業 住宅政策推進事業
関係する計画等	宝塚すまい・まちづくり基本計画（住宅マスタープラン）

#### 宝塚市行政評価委員会（対面評価）

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input checked="" type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家の適正管理・活用という方向性について、空き家バンク物件登録件数では指標として十分でない。「宝塚市すまい・まちづくり基本計画」の改訂時に合わせて「管理不全空き家の相談件数/対応件数」などの指標を検討されたい。</li> <li>・ 総合評価について評価の理由や成果が市民等にとってわかりやすくなるように説明を充実されたい。</li> <li>・ 民間の力等を借りながら空き家の有効活用を検討するなど、今後の施策展開に期待する。</li> <li>・ 人口減少時代にあつて公営住宅についても現状は住宅ストックを維持する方向であるが、将来的に妥当なのかについても検討されたい。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○良好な住宅を次の世代へつなぎ、誰もがずっと住み続けたいと思える魅力的な住環境が整っている。
31の施策分野	2-5 住宅・住環境
施策	(2) 安心して住み続けられる住まいづくりの促進
施策の方向性	○耐震診断や耐震改修の促進を図ります
施策を構成する主な事務事業	簡易耐震診断推進事業 住宅耐震化促進事業 建築確認情報MAPシステム管理事業
関係する計画等	宝塚市耐震改修促進計画

#### 宝塚市行政評価委員会（書面評価）

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本施策の指標は1つ（「住宅の耐震化率」）だけであるが、この指標でよいのか。「宝塚市住生活基本計画」では、「耐震診断や耐震改修の促進」は自然災害への備えに対する施策として位置付けられている。他方、「安心して住み続けられる住まいづくりの促進」については、バリアフリー化や、高齢者のための市営住宅などが挙げられている。</li> <li>・成果だけでなく「行政がその結果のために何をしたのか」が可視化されることが重要である。例えば耐震化や耐震診断をめぐる相談件数などが考えられる。とくに相談件数については、後の施策の基礎となる。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適なくらしがあるまち～安全・都市基盤～ ○歩行者や車両にとって安全で快適な道路空間の整備が進むとともに、生活を支える移動手段が確保されている。
31の施策分野	2-6 道路・交通
施策	(1) 計画的、効率的な道路整備の推進
施策の方向性	○渋滞の解消や都市防災機能の充実を目指し、都市計画道路の計画的な整備を推進します ○北部地域を含め、道路ネットワークの形成に向けた効果的な市道の整備を推進します ○開発や建築行為に合わせ、狭隘(あい)な生活道路の整備を推進します
施策を構成する主な事務事業	一般市道新設改良事業 県施行都市計画道路等整備負担金事業 都市計画道路競馬場高丸線整備事業 都市計画道路荒地西山線整備事業(小林工区) 都市計画道路山手幹線整備事業(梅野町工区) 生活道路整備事業 北部一般市道新設改良事業
関係する計画等	宝塚市道路網基本構想

### 宝塚市行政評価委員会(対面評価)

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input checked="" type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民にとって分かりやすく実感できる指標をぜひ検討いただきたい。たとえば、(1) 渋滞の混雑度等(渋滞の指標化は難しいとのことであったが、上位計画には「混雑度1.75」などの言及もある。路線や時間帯を限定した定点観測などもありえるのではないかと)や(2) 重点整備箇所の進捗率といった指標などが考えられる。</li> <li>・施策評価表で説明を充実し、市民にわかりやすいように工夫をしていただきたい。</li> <li>・市では生活道路整備条例を整えているとのことであるが、市民への説明資料(『わたしたちの生活道路の整備のご案内』)が古いままである。市民の理解醸成のためにも作り直しを検討してはどうか。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適なくらしがあるまち～安全・都市基盤～ ○歩行者や車両にとって安全で快適な道路空間の整備が進むとともに、生活を支える移動手段が確保されている。
31の施策分野	2-6 道路・交通
施策	(2) 公共交通の利便性の向上と、新たな移動手段の検討
施策の方向性	○公共交通の維持や利便性の向上を図り、新たな移動手段の確保を目指します ○北部地域では、地域の特性に応じた公共交通の確保に努めます ○コンパクトなまちづくりに向けて、交通結節機能の充実を図ります
施策を構成する主な事務事業	バス交通対策事業 山手地域内バス路線補助事業 北部地域内バス路線補助事業 JR武田尾駅バリアフリー化事業
関係する計画等	宝塚市地域公共交通計画
<b>宝塚市行政評価委員会（対面評価）</b>	
改善を求める点	□説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 □業務の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 体系の整理 <input checked="" type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在「公共交通の利用者数」が指標だが、施策の基礎資料として、鉄道とバスそれぞれの利用者数や個別の路線の情報を整理されたい。</li> <li>・個別計画と総合計画との関係について整理し、次期に計画に関連した指標の見直しをしていただけるということを強く期待したい。</li> <li>・移動困難者や高齢者の移動について、「市民の移動手段をどう確保するか」という観点（「市民の交通権」）から施策としてその位置付けをもっと明確にすべき。</li> <li>・交通協議会などで市民の声をよりよく集め、とくに移動困難の当事者の参加をすすめることができる体制を検討し、その成果を表す指標についても検討されたい。</li> <li>・福祉部局をはじめとする庁内の横の連携を強化すべきである。また新しい移動手段については民間との連携も検討されたい。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○歩行者や車両にとって安全で快適な道路空間の整備が進むとともに、生活を支える移動手段が確保されている。
31の施策分野	2-6 道路・交通
施策	(3) 橋梁などの道路構造物の長寿命化や計画的な修繕の推進
施策の方向性	○橋梁などの道路構造物について、定期的な点検を行い長寿命化を図るとともに、計画的、効率的な修繕による適正な維持管理を推進します ○市民からの情報収集による道路の効率的な整備を推進します
施策を構成する主な事務事業	橋りょう維持事業 道路維持事業
関係する計画等	

**宝塚市行政評価委員会（書面評価）**

改善を求める点	<input type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「施策の方向性」において、「市民からの情報収集による道路の効率的な整備を推進します」とある。しかし、道路維持事業の指標はなく、道路の修繕の必要性に関して市民からの情報提供の受付や情報収集の取組などがあるのかは読み取ることができない。</li> <li>・指標を「長寿命化計画に基づく橋梁の修繕個所数」のみとしているが、説明にあるとおり国庫補助金が半分しか獲得できなかったことにより目標が達成できない場合には指標が少なすぎて適正な行政活動の評価ができない。適正な評価ができるよう指標のあり方に立ち戻って再検討ありたい。</li> <li>・指標に、事務事業評価表にある指標の「定期点検橋りょう数」や施策の方向性に「市民からの情報収集による道路の効率的な整備を推進します」とあることからを指標に追加することも検討すべきである。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適なくらしがあるまち～安全・都市基盤～ ○歩行者や車両にとって安全で快適な道路空間の整備が進むとともに、生活を支える移動手段が確保されている。
31の施策分野	2-6 道路・交通
施策	(4) すべての人にやさしい安全で快適な道路環境づくりの推進
施策の方向性	○地域と連携した通学路の安全対策を推進します ○道路や公共交通のバリアフリー化など、人にやさしい交通環境を整備します ○自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を推進します ○環境や景観に配慮し、植栽など道路環境の適正な維持管理に取り組みます
施策を構成する主な事務事業	ノンステップバス購入助成事業 通学路安全対策整備事業 道路バリアフリー化整備事業 道路交通安全施設整備事業
関係する計画等	宝塚市自転車ネットワーク計画

### 宝塚市行政評価委員会（対面評価）

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路等の歩車分離等、他の指標の追加を検討されたい。</li> <li>・「自転車通行空間整備延長」は「ネットワーク延長の整備率」とした方が相応しいのではないか。また、「すべての人にやさしい安全で快適な道路環境づくりの推進」には歩行者も含まれる。都市計画マスタープランには「あるいてくらせるまちづくり」とあり、歩道整備の進捗などを指標とすることもありえるのではないか、検討されたい。</li> <li>・本施策は幅広い分野にまたがり、個別計画との関係が複雑でわかりづらい。関連する部局が連携して施策を推進できるように今後、施策体系の枠組みの見直し検討いただきたい。</li> <li>・課題を踏まえた今後の取組については、取組の全体像が見えるように加筆をお願いしたい。あわせて、事務事業評価表についても市民にわかりやすくなるように整えていただきたい。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適なくらしがあるまち～安全・都市基盤～ ○河川の整備や土砂災害対策が進むとともに、憩いや安らぎのある水辺空間がつけられている。
31の施策分野	2-7 河川・水辺空間
施策	(1) 治水・土砂災害対策の推進
施策の方向性	○総合治水の観点から、河川改修事業等を推進します ○土砂災害特別警戒区域に関する取組を推進します ○洪水・土砂災害に対する地域の防災力を高めます
施策を構成する主な事務事業	雨量計管理事業 急傾斜地崩壊対策事業 荒神川都市基盤河川改修事業 普通河川治水事業
関係する計画等	宝塚市水のマスタープラン 宝塚市地域防災計画

#### 宝塚市行政評価委員会（書面評価）

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の話が前面に押し出されているが、市の行政活動を評価しうるような説明が求められる。</li> <li>・ 地域防災力強化には、地域住民一人一人、地域コミュニティの積極的な参加が必要であることを踏まえ、広報の内容、協議ミーティングのやり方、まちづくり協議会との協働などを指標に据えることはできないか。</li> <li>・ 雨量計の保守点検・更新、急傾斜地崩壊対策、雨水貯留施設など、それぞれに指標化しにくいテーマではある。雨量計の保守点検のような定型業務については、業務を行ったことが評価されるようにできないか。急傾斜地崩壊対策については、最終的には市民の任意で決まるものもあり、例えば相談対応などが行政活動の評価に有用ではないか。</li> <li>・ 「治水・土砂災害対策の推進」という施策であるので、対策がどれくらい進んだのかという指標の方がふさわしいのではないか。</li> </ul>



第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○河川の整備や土砂災害対策が進むとともに、憩いや安らぎのある水辺空間がつけられている。
31の施策分野	2-7 河川・水辺空間
施策	(2) 憩いや安らぎのある河川・水辺空間の創出
施策の方向性	○河川・水辺空間の利活用を推進します ○河川・水辺空間活動団体を支援します
施策を構成する主な事務事業	環境美化推進事業
関係する計画等	宝塚市水のマスタープラン

### 宝塚市行政評価委員会（書面評価）

改善を求める点	□説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の改善 □体系の整理 □その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標が目標に達しなかったものの、担い手の高齢化により継続が困難な中で現状を維持していることはよい傾向である。</li> <li>・河川など市の美化推進には、市民の参画が必要であり、高齢化が進む自治会などに加えて、ボランティアサークル、企業、学校等に更なる働きかけが必要である。</li> <li>・「憩いや安らぎのある河川・水辺空間の創出」という施策であるので、当該空間の創出がどれくらい進んだのかという指標の方がふさわしいのではないか。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適な暮らしがあるまち～安全・都市基盤～ ○安全でおいしい水が安定して供給され、公共下水も適正に処理されている。
31の施策分野	2-8 上下水道
施策	(1) 安全で良質な水道水の安定的な供給
施策の方向性	○良質な水道水を供給するため、きめ細かな水質管理を推進します ○水道水の安定供給を図るため、危機管理の取組を推進します ○市民から信頼され続ける水道を目指し、事業基盤の強化を図ります ○健全な経営に支えられた水道事業の構築に取り組みます
施策を構成する主な事務事業	簡易専用水道等管理事業 上水道事業
関係する計画等	宝塚市水道ビジョン2025 宝塚市下水道ビジョン2025

### 宝塚市行政評価委員会（書面評価）

改善を求める点	<input type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input checked="" type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水質検査については、市民が安心して安全で良質な水道水の供給を受けている点および適正な水質管理により水質事故が発生しなかったことを評価したい。また、市民に向けて「上下水道だより」を発行しながら市民への広報活動を行っている点も評価したい。</li> <li>・課題としては、近隣都市間との連携・共同化の強化や広域化の可能性の検討、水道管の更新耐震化の推進、水道施設の老朽化の状態の把握、地震などの災害に強い水道施設の構築、上水道水の確保を目的として建設された川下川ダムの貯水量と貯水率の監視体制、財政基盤の強化（水源の確保、施設の耐震化、老朽施設の更新、新浄水技術の導入などの実現に多くの資金を必要としている折から財政の健全化を図らねばならないため水道料金体系の見直しが必要）などが挙げられる。</li> <li>・指標②「管路の更新率」については、目標と実績が乖離しているが、この指標の目標が適正なのか疑問である。なお、工事単価の高騰が原因なのであれば、無理に現状の計画を維持せず、計画の見直しも必要なのではないか。</li> <li>・指標③「経常収支比率（水道）」について、料金改定においては、コスト削減を図りつつ、市民の満足度が低下しないよう、今後、理解に向けて丁寧な説明が必要である。</li> </ul>

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	2 住み続けたい、安全・快適なくらしがあるまち～安全・都市基盤～ ○安全でおいしい水が安定して供給され、公共下水も適正に処理されている。
31の施策分野	2-8 上下水道
施策	(2) 安全・安心で安定した下水道サービスの提供
施策の方向性	○浸水・地震対策を強化し、クライシスマネジメントを推進します ○アセットマネジメントを推進し、環境との共生の維持に努めます ○健全な経営に支えられた下水道事業の構築に取り組みます
施策を構成する主な事務事業	水洗化促進事業 下水道事業
関係する計画等	宝塚市水道ビジョン2025 宝塚市下水道ビジョン2025

#### 宝塚市行政評価委員会（書面評価）

改善を求める点	<input type="checkbox"/> 説明の充実 <input type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input checked="" type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として整理された分かりやすい指標になっていると思われる。</li> <li>・下水道整備により、ハエ、蚊の発生や悪臭を防ぐことができ、まちが清潔になり快適で衛生的な暮らしができている。下水処理場できれいに処理をした後、河川や海などに返すことにより、地球環境が守られている。下水道を整備していただいていることで、快適で衛生的な街となっており、トイレが水洗化され、水害時の住宅地への浸水のない街づくりにつながっている。また、川や海などがきれいになり、各地で川がきれいになってホテルが復活している。これらの点を評価したい。</li> <li>・災害等で長期間に下水道の機能が停止すると市民の生活に大きな影響をあたえる。災害時に被害状況を的確に把握し、早期に復旧支援協力する協定を民間企業等との間で締結している点も評価したい。</li> <li>・収入が減少する一方、今後、汚水管の老朽化に対応するための長寿命化・耐震化工事などの支出額が増加することが見込まれることから、今後も安定した下水道サービスを提供するために、下水道使用料を改定する必要があるのではないか。</li> <li>・災害対応業務である浸水対策調査業務を最優先で取り組むなど、緊急性に応じて事業を進められているが、重要な汚水幹線の耐震工事が一部繰越しとなっている状況であり、着実な事業実施を期待したい。</li> </ul>

<p>第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿</p>	<p>4 子どもの生きる力が育つまち～子ども・教育～  ○意見表明も含めた子どもの権利が守られ、子どもの最善の利益が実現できている。  ○子どもが、豊かな自然や文化芸術に触れ、他の世代や地域・社会と関わり、たくさんの遊びや学びを経験し、心豊かに成長している。  ○妊娠期からの切れ目のない支援により、家庭環境や経済的状況に関わらず、誰もがゆとりを持って、安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている。</p>
<p>31の施策分野</p>	<p>4-1 児童福祉・青少年育成</p>
<p>施策</p>	<p>(1) すべての子どもと家庭への支援</p>
<p>施策の方向性</p>	<p>○子どもの人権擁護を推進します  ○すべての子どもと家庭に対する妊娠期からの切れ目のない子育て支援に取り組みます  ○様々な困難などで配慮が必要な子どもと家庭への支援の充実を図ります  ○子どもの貧困の連鎖を防止するため、教育、生活、就労などにおいて地域との連携を含め、子どもや家庭への支援に取り組みます</p>
<p>施策を構成する主な事務事業</p>	<p>次世代育成支援行動計画等推進事業  母子等福祉総務事業  ひとり親家庭生活学習支援事業  ファミリーサポートセンター事業  子ども家庭支援センター事業  児童虐待防止施策推進事業  子どもの権利サポート委員会事業  子ども総合相談事業</p>
<p>関係する計画等</p>	<p>宝塚市次世代育成支援行動計画たからっ子「育み」プラン（宝塚市子ども・子育て支援事業計画）</p>
<p><b>宝塚市行政評価委員会（対面評価）</b></p>	
<p>改善を求める点</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/>指標の改善 <input type="checkbox"/>業務の改善 <input type="checkbox"/>体系の整理 <input type="checkbox"/>その他</p>

	<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親家庭に対する支援や総合相談支援拠点の整備など優れた取り組みが散見されるが、説明や指標にあがってきていない。PRできる点については市民への説明を充実すべきである。なお、ひとり親家庭の孤立化が重要なテーマになるのではないか。</li> <li>・政策実施との関連が明確でないアンケート結果のみを指標としている点は見直しをしていただきたい。見直しの視点は、(1) 重要な取組内容を適切に表現し、毎年測ることができる指標になっているか、(2) 施策を構成する事務事業をバランスよく反映しているか、(3) 施策の実効性を正しく表現し、毎年測ることができる指標となっているかなどである。7事業は「妊娠出産期」「子育て成長期」の2フェーズで成果指標を表現できるのではないか。</li> <li>・子ども・子育て施策は成果が見えにくく、現状の指標では施策の改善や市の努力が適切に反映されているのか不明。現場での努力を拾い上げるのはむしろ施策のプロセスに注目した指標の方であり、検討されたい。総合計画と施策、事業のつながりやその評価が、説明欄から十分読み取れないため、構成や説明も充実されたい。</li> <li>・現場での専門職の活動や地域の活動が面的に展開されていることが重要であるため、体制整備を行い、その達成度等を測る指標の設定を検討されたい。</li> </ul>
--	-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	<p>4 子どもの生きる力が育つまち～子ども・教育～</p> <p>○意見表明も含めた子どもの権利が守られ、子どもの最善の利益が実現できている。</p> <p>○子どもが、豊かな自然や文化芸術に触れ、他の世代や地域・社会と関わり、たくさんの遊びや学びを経験し、心豊かに成長している。</p> <p>○妊娠期からの切れ目のない支援により、家庭環境や経済的状況に関わらず、誰もがゆとりを持って、安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている。</p>
31の施策分野	4-1 児童福祉・青少年育成
施策	(2) 子育てと仕事の両立支援
施策の方向性	<p>○待機児童解消のための施策を進めるとともに、一時預かり事業や病児保育事業などの多様な保育施策に取り組みます</p> <p>○放課後の健全育成の場の確保に向け、放課後児童対策に取り組みます</p>
施策を構成する主な事務事業	<p>市立保育所保育実施事業</p> <p>病児保育事業</p> <p>指定保育所助成金</p> <p>私立保育所助成金</p> <p>地域児童育成会事業</p> <p>民間放課後児童クラブ運営支援事業</p> <p>私立保育所誘致整備事業</p>
関係する計画等	宝塚市次世代育成支援行動計画たからっ子「育み」プラン（宝塚市子ども・子育て支援事業計画）

### 宝塚市行政評価委員会（対面評価）

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<p>・総合評価は「C」とされているが、取組の内容に鑑み、「B」とすべきである。理由は以下のとおり。「C」の根拠となっている指標③について、そもそも想定を上回る申請で待機児童数が大幅な増となったということだが、学期中に改善にとりくみ、増を相当吸収済みとの報告があった。その他の項目でも事業評価を確認すれば所期の成果を達成していることが示されている。</p> <p>・「子育てと仕事の両立支援」が掲げられているが、これらのうち「仕事」に関する取組は含まれていない。また、その意味も十分には説明されていない。複数の部局にまたがる形で施策が括られているため、</p>

		<p>所管部局だけに閉じた議論ではなく、施策体系の全体に関して全庁的な議論の場を持つ必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・放課後児童クラブについては、教育委員会と密に連携を取りながら事業を進められたい。</li><li>・指標については実質的な内容を見れば相当に重複されており、「子育て」への偏りもある。再整理を検討されたい。</li></ul>
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	<p>4 子どもの生きる力が育つまち～子ども・教育～</p> <p>○意見表明も含めた子どもの権利が守られ、子どもの最善の利益が実現できている。</p> <p>○子どもが、豊かな自然や文化芸術に触れ、他の世代や地域・社会と関わり、たくさんの遊びや学びを経験し、心豊かに成長している。</p> <p>○妊娠期からの切れ目のない支援により、家庭環境や経済的状況に関わらず、誰もがゆとりを持って、安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている。</p>
31の施策分野	4-1 児童福祉・青少年育成
施策	(3) 安全・安心の子育て環境づくり
施策の方向性	<p>○子育てしやすい生活環境づくりに取り組みます</p> <p>○子どもの安全・安心の確保に取り組みます</p>
施策を構成する主な事務事業	<p>青少年センター運営事業</p> <p>青少年相談事業</p> <p>青少年補導事業</p>
関係する計画等	宝塚市次世代育成支援行動計画たからっ子「育み」プラン（宝塚市子ども・子育て支援事業計画）

### 宝塚市行政評価委員会（書面評価）

改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input type="checkbox"/> 体系の整理 <input checked="" type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全・安心の子育て環境づくり」という施策であるので、対応がどれくらい進んだのかという指標の方がふさわしいのではないかと。</li> <li>・市民アンケートによる評価が適正な指標となり得るのかという問題がある上に、アンケートが毎年実施されないこと、これのみしか指標が掲げられていないことを踏まえ、他の指標を検討ありたい。</li> <li>・施策評価表の記述内容が、市の子どもに関する政策全体を示すような内容に読めるのは疑問である。昨年度の施策の実施と社会情勢の変化を絡めて現段階の本施策の課題として浮かび上がることを具体的に記述する方がよい。施策名の「安心・安全の子育て環境づくり」という記述も広義にとらえられるものであるため、より具体的な記述が望ましい。事務事業における「補導委員が活動時に声掛けした人数」などは、地道な活動であるが重要な意味を持つものではないか。活動の意義や実績が市民に適切に理解されるような記述に努められたい。</li> <li>・施策の方向性に「子育てしやすい生活環境づくりに取り組みます」とあるが、これを適切に表現する指標がないか、検討ありたい。</li> </ul>



		<ul style="list-style-type: none"><li>・声掛け時に気になった事案については、関連部署や支援団体などとの連携や子どもへの情報の周知、相談や支援を活用することの勧奨等も視野に入れるとよいのではないかと。</li></ul>
--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次宝塚市総合計画におけるめざすまちの姿	<p>4 子どもの生きる力が育つまち～子ども・教育～</p> <p>○意見表明も含めた子どもの権利が守られ、子どもの最善の利益が実現できている。</p> <p>○子どもが、豊かな自然や文化芸術に触れ、他の世代や地域・社会と関わり、たくさんの遊びや学びを経験し、心豊かに成長している。</p> <p>○妊娠期からの切れ目のない支援により、家庭環境や経済的状況に関わらず、誰もがゆとりを持って、安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている。</p>
31の施策分野	4-1 児童福祉・青少年育成
施策	(4) 家庭や地域の子育て力の向上と子どもの社会参加の促進
施策の方向性	<p>○家庭や地域の子育て力・教育力の維持向上を図ります</p> <p>○子どもの居場所の更なる充実を図ります</p> <p>○子どもの意見を生かす子ども参加型のまちづくりに取り組みます</p> <p>○青少年の孤立を防ぎ、自立と就労を支援します</p>
施策を構成する主な事務事業	<p>子ども議会事業</p> <p>家庭教育推進事業</p> <p>児童館運営事業</p> <p>青少年育成事業</p>
関係する計画等	宝塚市次世代育成支援行動計画たからっ子「育み」プラン（宝塚市子ども・子育て支援事業計画）
<b>宝塚市行政評価委員会（対面評価）</b>	
改善を求める点	<input checked="" type="checkbox"/> 説明の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 指標の改善 <input type="checkbox"/> 業務の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 体系の整理 <input type="checkbox"/> その他
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策実施との相関が薄い市民アンケート結果を指標とするのではなく、適切な指標を設定すべきである。</li> <li>・ 次期の次世代育成支援行動計画の見直しの際に、本施策で何を実現したいのか、というコンセプトを明確にすべきである。また、コンセプト如何によっては子ども議会事業の所管についても再検討の余地がある。</li> <li>・ 予算的に児童館運営事業のウエイトが大きい。これを指標化し、総合評価の大きな根拠としなければ説明として十分とはいえないのではないか。</li> <li>・ 総合評価が「A」とされている。しかしながら、その理由は不明確である。なぜ、「A」なのかについて、説明の充実が求められる。</li> </ul>

#### 4 第2期夢・未来 たからづか創生総合戦略の評価結果

基本目標	<p>【基本目標2】 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">基本的方向</p>	宝塚市行政評価委員会（対面評価）
	<p>○取組の結果として以下説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たからっ子総合相談センター”あのね”」を開設し、子ども家庭総合支援拠点の整備を実現し、家庭支援・相談の充実が図られている。</li> <li>・子ども家庭総合支援拠点運営協議会を立ち上げ、庁内連携の推進を進められている。</li> <li>・きらきら子育てメールをLINEでの情報発信に切り替え、情報発信の強化に努めている。</li> <li>・乳幼児健診の受診率は、高水準を維持できている。</li> </ul> <p>○以下のような課題や意見が付された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代でない回答者が過半数を占める市民アンケートの結果を成果指標に設定することには疑問であり、市の直接的な事業成果が測れるような指標となるべき。</li> <li>・商工会議所等を通じて民間事業者と連携を取り、子育てしやすい労働環境の啓発に努めてはどうか。</li> <li>・乳幼児健診の受診率は数値だけでなく、尽力して取り組んでいる内容が見えるように説明の充実を望む。</li> <li>・ファミリーサポートセンターの会員登録数の指標については、登録者のニーズに対して、必要な支援を行える援助会員が少なく利用につながらないという実態があるため、検討が必要。</li> </ul>
	<p>○主な取組の成果として以下の内容を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所の整備による定員の増、受け入れ枠の拡充により、保育施設の待機児童数については、0人となっており最終目標を達成できている。</li> </ul> <p>○以下のような課題や意見が付された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者の男女別の育児休業取得率などを調査し、指標化を検討してはどうか。</li> <li>・子育て世代の実態について調査、分析を行い、より明確なターゲットニングを行った上での施策展開を期待する。</li> <li>・KPIの目標設定、中間年度目標設定がされていないものについては整理が必要。</li> <li>・M字カーブの世代の労働力率については、正規雇用か、非正規雇用かという区分分けが必要。</li> </ul>
<p>(3)「生きる力」を育み、次代の社会を担</p> <p>○主な活動として以下の説明があった。</p>	

<p>う子どもへの学校教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己表現力向上事業では、市内の小学校5・6年生の児童約1,700名が参加し、平田オリザ氏を中心とした劇団員を外部講師として演劇手法を用いた先進的なコミュニケーション教育に取り組んでいる。</li> <li>・学校内で自由に過ごせるフリースクールを12校中11校で実施しており、学校に登校しにくい子どもたちが過ごせる居場所づくりが進んでいる。</li> <li>・3名のスクールロイヤー（弁護士）を配置し、どうすれば子どもが一番幸せな状況になるかという観点で意見、指導を仰ぎ、子どもを中心に考えた教育環境の実現に努めている。</li> </ul> <p>○以下のような課題や意見が付された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保幼小中合同研修会において「理解できた」と回答した教職員の割合が非常に高く評価に値する。</li> <li>・全国学力・学習状況調査の結果と、本施策の成果のつながりが不明確な部分がある。コミュニティスクールの充実など市の成果が測れる指標が望ましい。</li> </ul>
<p>(4) 子育て世代に選ばれる魅力的な住環境の形成</p>	<p>○主な取組として以下の説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パークマネジメント計画を策定し、民間活力の導入等これからの市民ニーズに合った公園整備を進められようとしている。</li> <li>・まちづくり協議会等、宝塚市の地域力の高さを生かして地域と協働による地域の特色を生かした公園整備が進められようとしている。</li> <li>・文化芸術センターは文化施設と都市公園が融合した先進的な取組となっている。</li> </ul> <p>○以下のような課題や意見が付された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園アドプト制度など市民が主体となった公園管理が進んでいる。</li> <li>・KPI（市街化面積）について、設定理由、効果等分かりやすい説明が必要。</li> <li>・KPIの目標値が関連計画と異なっている。</li> </ul>
<p>全体について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KGIの25～39歳の転入超過数については、現在の社会情勢等を鑑みると20歳～49歳が妥当ではないか。</li> <li>・合計特殊出生率は施策のKGIとしては妥当ではない。18歳までの人口比率等の方が適当と考えられる。</li> </ul>

## 5 地方創生推進交付金事業の評価結果

NO.	事業名称	宝塚市行政委員会（対面評価）
1	文化芸術を中心としたまちのにぎわい・活力創出事業 ～選ばれたまちを目指して～	<p>○主な取組の成果として以下の内容を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光まちづくり事業では、アートフェスティバルとして約20のイベントを実施し、まちのにぎわいづくりの創出を推進した。また、交付金事業が終了した後も自立化し、継続して実施しているイベントが生まれている。</li> <li>・コロナ禍で減少している文化芸術の発表の場を、市が率先して提供した。</li> <li>・観光を振興する部局と文化芸術を振興する部局が一体となって事業を推進したことで、文化振興のイベントで市内の観光消費額を増加させるような新たな視点で文化振興を推進することが可能となった。</li> </ul> <p>○その他以下のような意見が付された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後周遊企画の対象となる店舗等の売上高を大きくしていく必要がある。</li> </ul>
2	やる気が生み出すイノベーション！新たな一歩応援事業	<p>○主な取組の成果として以下の内容を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進むダリア産業で、新たな担い手を1名確保した。</li> <li>・ダリアを活用した特産品開発では、ジンジャーシロップやビールの開発、ダリア酵母を用いた製パンの取組を行い商品開発に繋がった。</li> <li>・北部地域の移住相談については目標である20件の相談を受けた。</li> </ul> <p>○その他以下のような意見が付された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなビジネスモデルについて営業利益率の目標値を上げるべきである。</li> <li>・個別アプローチ等で、移住相談件数を増加していくべきである。</li> <li>・北部地域のマスタープラン、ロードマップを作成すべきである。</li> </ul>
3	新しい生活様式に対応した起業家支援事業～若い力で新しい宝塚を創造する～	<p>○主な取組の成果として以下の内容を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内4件の小規模事業者や個人事業主に対し、改装や看板設置など店舗への改装等にかかる工事費の一部補助を行い、市内の魅力ある店舗づくりを進めた。</li> <li>・大学での起業醸成のセミナーを実施し、約150名の学生等の参加があり、若年者の起業意識の醸成を図った。</li> <li>・市内小学校全校において外部講師を招いたグループワークを実施し児童の自己表現力や他者とのコミュニケーション能力などの向上に寄与した。</li> </ul>

## 6 委員名簿

(敬称略、五十音順)

職務	氏名	所属等
委員	石丸 寛二	宝塚商工会議所会頭（新明和工業株式会社 取締役副社長執行役員）
委員	岡 絵理子	関西大学教授
委員	上月 宏之	近畿税理士会西宮支部 税理士法人アークマネジメント 代表社員税理士・所長
委員	篠原 靖	兵庫県阪神北県民局 宝塚健康福祉事務所副所長
副委員長	土山 希美枝	法政大学教授
委員	中谷 奈津子	神戸大学大学院准教授
委員	中村 一雄	宝塚市自治会連合会理事
委員長	南島 和久	龍谷大学教授
委員	山下 洋介	市民公募委員